

# CURIOUS MINDS

平成20年5月 第8号

発行: せんだい若者サポートステーション  
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12  
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691  
Mail: info@saposute.ne.jp  
URL: http://www.saposute.ne.jp

\* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。

～ “curious minds” の願い ～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）をととても大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この“curious minds”という名をつけました。



## せんだいサポステ ニュースフラッシュ

連休も過ぎ、過ごしやすい季節になってきました。せんだいサポステでは、年度初めの勢いをそのままに、いろいろと活動をしています。その様子的一端を、ここでお伝えします。

### 出前相談会進行中



4月から始まった「出前相談会」。お陰さまで、毎回、ご本人やご家族の方、行政関係者の方、支援者の方々など、多くの皆さまにおいでいただいています。本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。  
この場でお寄せいただくご意見や想いは、まさに貴重なものです。これらをせんだいサポステの活動に生かしていくと共に、この出前相談が、地域の皆さまの情報交換の場にもなるよう、工夫していく予定です。  
今後も、各地で5回ずつ開催させていただきます。是非とも足をお運び下さい。

～ 6月・7月の予定 ～ 10:00～12:00 はセミナー、13:00～16:00 は個別相談会を行います

6月10日(火)	大河原合同庁舎	(柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111)
6月24日(火)	仙台保健福祉事務所岩沼支所	(岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188)
7月8日(火)	仙台保健福祉事務所塩釜総合支所	(塩釜市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502)
7月15日(火)	仙台保健福祉事務所黒川支所	(黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111)

詳細は、せんだいサポステ(022-246-9685)までご連絡を頂くか、ホームページをご覧ください。(http://www.saposute.ne.jp)

なぜか人気の

## コミュニケーションワーク

「コミュニケーションワーク」は、回を重ねるごとに参加者が増えているイベントです。(毎月第3水曜日開催)

これまでのテーマは、

- みんなでストーリーを作り、それを好きな形で発表する
- ゲームを通し、言葉に頼り過ぎないコミュニケーションを感じる
- 言葉のキャッチボールのコツをつかむ
- 相手も自分も大切にしたい言葉で伝えるコツを考える

参加者同士協力してワークを行うこと自体が、コミュニケーションです。そして参加者のみなさんは、ワークを通して互いの考えを分かち合うことで、自分自身のものの見方も広がることを実感しているようです。



「実際にやってみないと…」  
という方には

## 「サロン」で実践!

「コミュニケーションワーク」で何となく自信がつかめてきたら、必要なのはやはり実践の場。そこで、毎月1回開催する「サロン」では、あえてテーマを設けず、自然な流れでの会話を楽しまします。

自由度が高いために難しさもありますが、思わぬ話題で盛り上がることも。参加者同士の相互理解も深まっています。

毎月第1金曜日の11:00～14:00の開催です。お昼持参の上、是非ご参加下さい。

ご活用ください

この“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできるようになりました。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

URL: http://www.saposute.ne.jp

## お話を伺った方・・・代表取締役社長 渡辺雅彦(わたなべまさひこ)さん

渡辺さんの会社は、東北唯一の硝子商品卸業として、昭和9年(1934年)に創業し、70数年の歴史があります。渡辺さんは3代目の社長。戦前は地元の百貨店との取引を中心に、戦後は量販店との取引を増やし、現在は日本全国に向けて、硝子製品などの卸販売・加工・ネット販売をしています。

“和食器の文化”が色濃い東北で、硝子素材の商品にこだわることで、他業者との差別化を積極的に図ってきました。

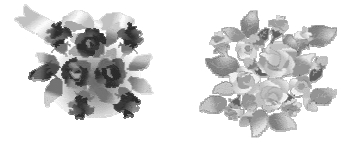
「商売を続けるには、**人・物・金・情報**に敏感になっていく必要がある」と渡辺さんは語ります。

- 【人】……「お客様の喜ぶ姿を思いながら仕事をしています。喜んでいただいた時は本当に幸せですね  
「常に好奇心を失うことなく、感動する仕事をしていきたいです」
- 【物】……「チェコの硝子やベネツィアの硝子など、他の業者が持っていないものに、投資をしました  
「サンドブラスト(砂を吹き付ける技法)で加工した、付加価値をつけたものを商品化し、販売しました」
- 【金】……「社長は、従業員とその家族が生活していくための全責任があります  
「お金のためだけに働くのはむなしいことです。考えながら、工夫をしながら仕事をしています」
- 【情報】……「最近、インターネットでの取引も開始しました  
「時代の波に上手に乗って行けたのが、現在も会社が存続できている理由です」



インタビュー中、ふと、「あなたは真面目すぎる」と突っ込まれました。渡辺さんには見抜かれていたようです。わたしが人と会話するのが苦手ということ。

「今の若い人たちは」渡辺さんはおっしゃいます。「パソコンと対話するのは上手いんだよね」  
「いくらパソコンで表やグラフを作るのに秀でていても、やっぱり人と関わらないとね」  
「全てに成功する人はいないんです。まず行動すること。失敗しても良い。そこから反省し、更に挑戦していく姿勢が大事ですよ」



わたしにはどこか慎重すぎるどころや、好奇心よりも恐怖心の方が勝っているために行動に移せないところがあります。でも、「結果は失敗しても、そこに至るまでの過程、自分で考える・行動する・工夫することが大切」という言葉で、少し勇気が湧きました。渡辺さんの趣味は、ゴルフと囲碁。特に、「囲碁は先を読んで勝負できるから面白い」そうです。  
「人との会話も、先を見て、相手が何を考えているか読んで話してみると面白いですよ」。なるほど、と思いました。

わたしはいつも自分のことで頭がいっぱいになって、相手のことまで気が回りません。何か話さなくちゃ、何か話さなくちゃという想いだけが頭の中を駆け巡り、ひとりで空回りしてしまったりします。もっと人を見て、余裕を持って接したいです。

目の前に広がる、ヨーロッパのカラフルで造形が美しい香水瓶などのインテリア、日本の繊細な薩摩切子などのグラス。その、どれもが皆、輝きを放ち、奥ゆかしく、き然として並んでいて、その様子に心を奪われました。渡辺さんの心の中も美しさに溢れている、そのような印象を受けました。また、渡辺さんの鋭い洞察力と人当たりの良さは、これまでの経験から紡がれたものではないかと。友達が多ければその分入ってくる情報の量も多いとのことで、人とのつながりを大切にしたいとも強く思いました。



硝子製品は、なんだか特別で贅沢な感じがします。硝子のカップでいただいた珈琲は格別な美味しさで、五感が冴え渡るようなすっきりとした気分になりました。

インタビュー終了後、渡辺さんから一言。「頑張りなさいよ」。

背筋がしゃきっとする反面、とても温かい言葉をいただいたと、嬉しくなり、心に深く刻まれました。

これからは、人との会話と硝子製品を、もっともっと生活の中に取り入れて、心を豊かにしていきたいと思いました。

渡辺雅彦さん、本当にありがとうございました。

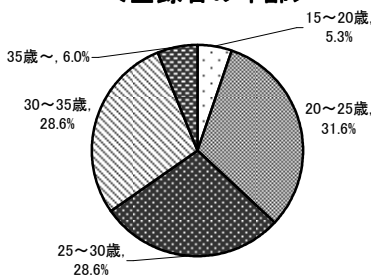
(BY きょうちゃん)

# せんだいサポステ DATA

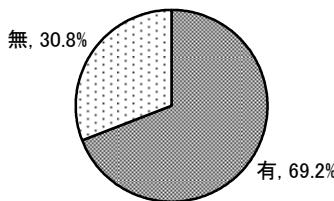
※平成19年5月14日～平成20年5月18日現在

登録者数 141名 (男性109名 女性32名)

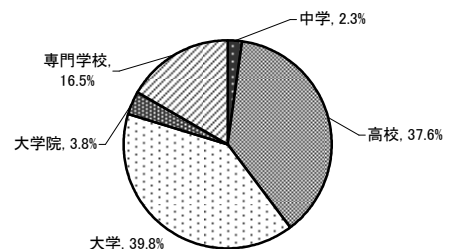
<登録者の年齢>



<職業経験の有無>



<最終学歴(中退・在学中含む)>



来所者のべ数 1833名

相談件数 887件

イベント参加者のべ数 938名

進路決定者数 29名

(正規雇用6名 フルタイム非正規雇用19名 職業訓練3名 進学1名)